



# 裏磐梯だより

No.92

2018年9月



▲初秋のレンゲ沼とヒツジグサ

今年の夏は、全国的に猛暑を乗り越えて「酷暑」とも表現される夏でしたが、あれほど暑かったのが嘘のように一気に涼しくなりました。夏にはまだオレンジ色だった赤トンボの仲間たちも、すっかり真っ赤になり、夏から秋への季節の移り変わりを物語っています。

レンゲ沼は、桧原湖中部の東岸近くに位置する小さな沼です。多数の水生植物が生育しており、とくに夏の間は、湖面の多くが浮葉植物に覆われているのが特徴です。沼の名前に関連するのかどうかは分かりませんが、7～9月頃までは、水面に咲く純白のヒツジグサの花がみられます。

紅葉が彩りを添えるのはまだ先になりますが、夏のにぎやかさから少し落ち着いて、一息つける時期です。そっと沼辺に佇み、小さい秋を感じてみてはいかがでしょうか？